

2007 なはカーフリーデー ～クルマを置いてまちな出よう～ 実施計画書

※ 以下の文中では、必要に応じ「カーフリーデー」を「CFD」と略記します。

■ 目的

- ・ カーフリーデーの理念自体を紹介するため
- ・ 地球温暖化、大気汚染等の環境問題に対し、交通面できることを考えてもらうため
- ・ 公共交通の存在意義を問い直し、市民に県内の公共交通を見直してもらうため
- ・ クルマに頼らずとも快適な都市生活を送れる、というメッセージを伝えるため
- ・ クルマに頼り過ぎない、「ひと中心のまちづくり」に向けて、市民一人一人にも意識を持ってもらうため
- ・ 那覇市の中心市街地を再発見してもらうため
- ・ 市民の交通に対する意識を把握するため

■ 担当

主催：那覇市・NPO 法人しまづくりネット(共催)

協力：カーフリーデージャパン、那覇市国際通りトランジットマイル導入委員会

■ 後援・協賛依頼対象団体

分類	団体・企業	理由や目的等
自治体等	沖縄総合事務局・沖縄県	CFD をバックアップする姿勢を明確にする
報道機関	NHK・OTV・QAB・RBC・OCN	PR 効果:OTV「河川環境シリーズ」・OCN 沖縄ニュース Today「NPO 情報コーナー」等
	琉球放送、ラジオ沖縄、各 FM 局	カーラジオから直接ドライバーに訴える
	琉球新報・沖縄タイムス	特集記事の作成等依頼
運輸系事業者等	沖縄都市モノレール(株)	当事者として
	沖縄県バス協会・乗合バス事業者 4 社	
企業	沖縄コカ・コーラボトリング	たくさん歩いて汗をかき、健康になろう
	オリオンビール	お酒を飲むならクルマに乗らない

■ スケジュール

2007 年 9 月 22 日～23 日 両日 10:00～18:00

【雨天時】シンポジウムは実施。試乗系イベントは中止。ただし各種イベントは部分実施等、状況により判断する。台風（暴風）時は全て中止。

■ 会場

【テンプス前広場】

パネル展や、参加団体が出展するスペースです。

【市道牧志壺屋線】

電気自動車・電気自転車等の試乗スペースです。

【テンプスホール】(9/23) シンポジウムのみ。



【イベント内容】

1. カーフリー宣言(9/22)13:15 開始予定

テンプス前に、那覇市長が自転車に乗って登場します。(予定)
そして、那覇市長に、CFD の概略説明や、那覇市が CFD の理念に基づくまちづくりを進めていく旨の宣言と、まちなかウォークの出発の合図をしてもらいます。

2. まちなかウォーク(9/22)13:00 集合

CFD には、「地域の資産を再認識する」というねらいもあります。
テンプス周辺には浮島通りや壺屋地区をはじめ、歴史的あるいは情緒のある地区が点在しているほか、歴史的な見所も多いです。
そこで、那覇市の案内に長けた人「NPO 法人那覇市街角ガイド」を案内役に、那覇市内の「那覇市民も知らない」隠れたスポットを巡る「まちなかウォーク」を開催します。
参加者は数グループ計 80 名程度、グループ別に 1~2 時間ほどまちを散策します。

3. カーフリーデーシンポジウム (9/23) 13:30 受付 14:00 開始

■ 目的

- ・ カーフリーデーの理念や考え方をより丁寧にわかりやすく伝える
- ・ 那覇市のまちづくりの責任者である市長を招くことで、都市と交通に関わる問題の重要性を市民に認識してもらう
- ・ 「都市交通」「生活の質」等の視点からのシンポジウムは今まであまり開催されておらず、市民に対して新たな視点・考え方をもたらす機会とする

■ 日時 2007 年 9 月 23 日(日) 受付：13 時 30 分、14 時開始~16 時 45 分終了

■ 会場 沖縄県那覇市牧志 3-2-10 ぶんかテンプス館 4 階テンプスホール (定員 250 名)

■ ゲスト

- ・ 基調講演…太田勝敏 (東洋大学国際地域学部国際地域学科教授)
- ・ パネルディスカッション：
 - ・ 翁長雄志 (那覇市長)
 - ・ 比嘉司 (那覇市国際通り商店街振興組合連合会専務理事)
 - ・ 桜井国俊 (沖縄大学学長)
 - ・ 高嶺豊 (琉球大学法文学部教授)
 - ・ 谷田貝哲 (NPO 法人 しまづくりネット)

■ プログラム 以下のような流れを想定している。

プログラム	所要	累計
主催者挨拶	5分	5分
基調講演	75分	80分
(休憩)	5分	85分
CFD 紹介	5分	90分
パネルディスカッション	60分	150分
質疑応答	10分	160分
閉会挨拶	5分	165分

■ 参加費

無料。ただし、カーフリーデーやヨーロッパのまちづくりに関する簡単なリーフレットを、希望者に実費程度で頒布する。

※ 太田教授略歴

1971年 ハーバード大学大学院都市・地域・計画研究科博士課程修了

1995年 東京大学大学院工学系研究科教授

現在 東洋大学国際地域学部国際地域学科教授、豊田都市交通研究所所長

(研究テーマ) 都市交通計画・交通システム分析(持続可能な都市と交通に向けた政策・計画)

(著書) 道路投資の社会経済評価(共著)(東洋経済新報社、1997年)

交通システム計画(技術書院、1998年)

新しい交通まちづくりの思想-コミュニティからのアプローチ(編著)(鹿島出版会、1998年)

4. 試乗系イベント(9/22・23)10～18時

試乗メニューは、以下の通りです。

プログラム	内容	担当
脱クルマ社会に向けて		
おもしろ自転車試乗会	様々な自転車の体験	NPO 法人プラネットチャオ
ブリヂストン「ASSISTA」試乗	電気自転車の体験	NPO 法人プラネットチャオ
脱クルマ社会・生活の質の向上に向けて		
トヨタ「COMS」試乗	電気自動車の体験	(株)ターボ沖繩

5. 各種イベント(9/22・23) 10～18時

その他の様々なメニューは、以下の通りです。

プログラム	内容	担当
イベント内容の理解のために		
CFD 紹介	CFD の理念等の説明(パネル等)	主催者
ヨーロッパの都市交通の紹介	「かっこいい」トラム、「きれいな」街並み紹介(VTR も)	主催者
脱クルマ社会に向けて		
自転車便の紹介	自転車での宅配サービスの紹介	サイクルワークス
バス利用プラン紹介	最適なバスの使い方のアドバイス	NPO 法人しまづくりネット

自転車なんでも相談	バンク修理、自転車選びアドバイス等	沖縄輪業(株)
脱クルマ社会・生活の質の向上に向けて		
ノンステップバス紹介	大型ノンステップバスの展示・試乗	NPO 法人オムニバスデザイン社
脱クルマ社会と生活の質の向上・街の魅力の再発見のために		
ペロタクシー乗車受付	ペロタクシーの乗車(乗り場設置)	NPO ecomo.I
レンタサイクル貸し出し	自転車の貸し出し	NPO 法人しまづくりネット

※ぶくぶく茶の試飲 (9/22のみ 13:00~17:00) テンブス館2Fで予定。数に限り有り。

■公共交通事業者の取り組み

那覇バス(株)、沖縄バス(株)、東陽バス(株)、(株)琉球バス交通

- ・バスの日フリー乗車券(1,000円)を、カーフリーデー期間に合わせて、9/22、9/23、9/24に設定。9月上旬から5千枚販売開始予定。

沖縄都市モノレール株式会社

- ・ゆいカードの絵柄をカーフリーデーのロゴに変えて作成。300枚を実行委員会に提供。実行委員会は、まちなかウォークなどの参加者に配布予定。

■イベントの効果把握

当日は、来場者に対しアンケート(交通に関する意識調査など)を実施します。これは、今後那覇市がよりよい交通政策を導入することができるようにすること、また来年度以降のカーフリーデーの方向性を検討する際の判断材料とすることが目的です。また、CFD ジャパンが全国統一テーマのもとに実施するアンケートも行います。

■広報・宣伝

最も重要なことは、「普段クルマを常用している人」「公共交通に特に興味を持っているわけではない人」に来てもらうことです。このことを念頭に置きつつ、検討します。

- ・ **チラシ類**…ゆいレール各駅での配布/ゆいレール車内・路線バス車内への掲出・フリーチケット購入者への配布/市役所・県庁・総合事務局での配布/大規模商業施設での配布/協賛・後援団体への持ち込み/企業まわりでの配布/大学・福祉施設等への持ち込み/久茂地交差点等での街頭配布 などを想定
- ・ **ポスター**…ゆいレール駅への掲出/市役所・県庁・総合事務局への掲出/バスターミナルへの掲出などを想定
- ・ **ペロタク**…9月16日~23日まで、車両1台を貸しきってCFDラッピングを実施。
- ・ **報道機関**…テレビ・新聞・ラジオ各社に、後援依頼とは別に取材依頼を提出するほか、市役所記者クラブにて記者発表を実施。